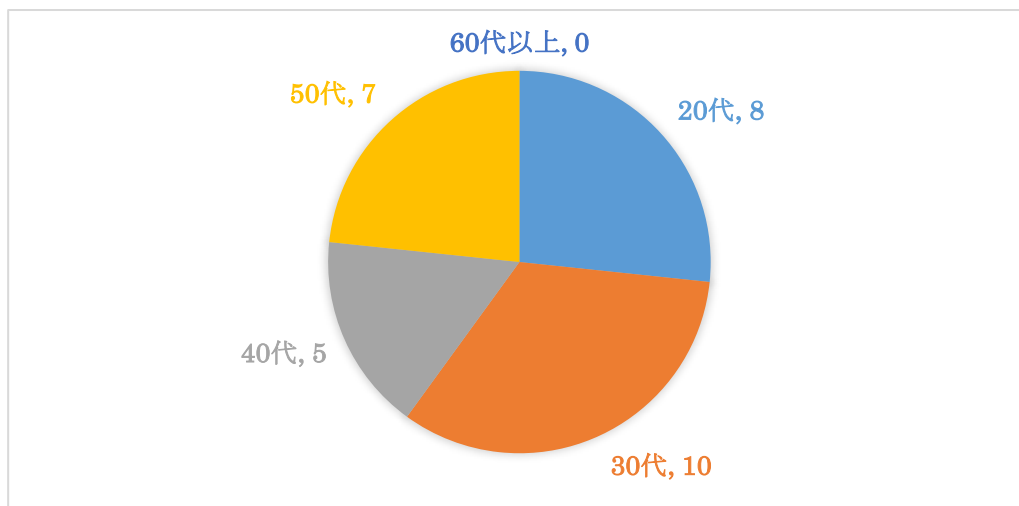
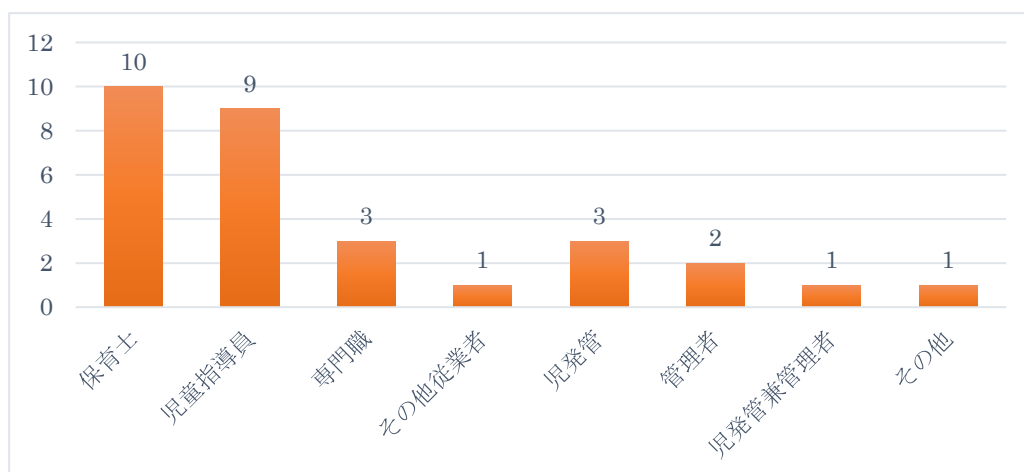


令和4年度 障がい児福祉サービス事業所研修会
スキルアップ研修会 アンケート集計結果 (29/33 回答率 87%)

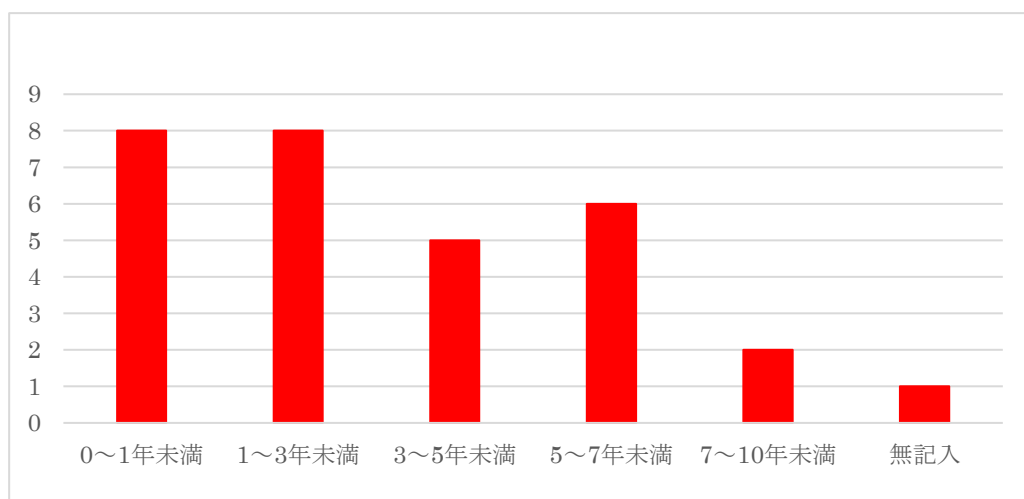
1. 参加者の年代



2. 参加者の職種

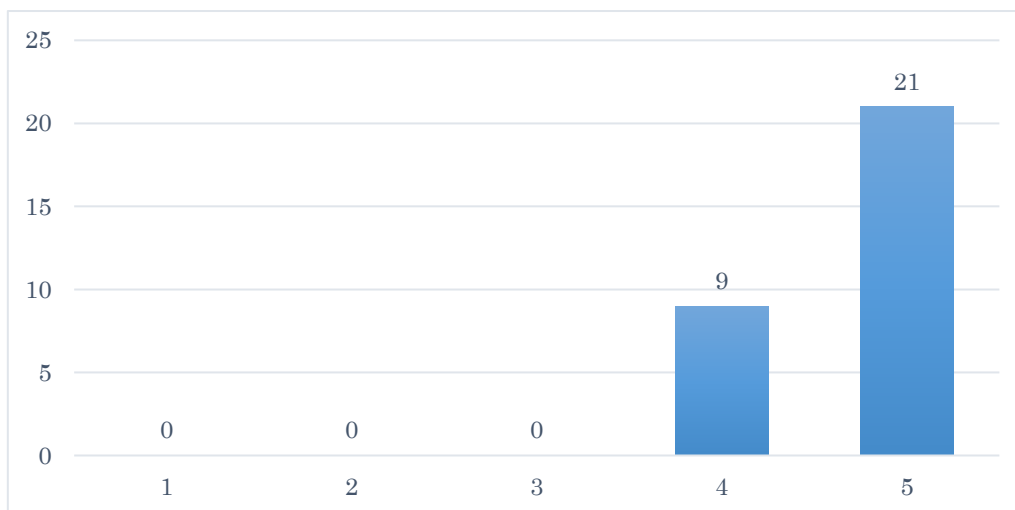


3. 障がい児療育の経験年数



4. 講義内容はいかがでしたか？当てはまる数字に○をお願いします。

難しかった→			→理解できた	
1	2	3	4	5



5. 講義内容について、ご質問・ご意見・ご感想をお書きください。

- わかりやすい研修でした。実践に応用できるものを考えて取り組みたいと思います。
- 子供に合わせた遊びのねらい、工夫の大切さを学ぶことが出来てとてもよかった。発達段階によって、体の使い方、感じ方がある事を学ぶことが出来た。
- 座学だけでなく、実際にグループで考えて意見を出し合ったり活動を体験して、学びをより深めることができました。本日学んだことを活かして子どもたちが楽しいと思えるような遊びを提供できるようにしていきたいと思います。
- 自身の現場の子供たちとならどうなるかを考えながらでき、実際に体験することでイメージをつかむことが出来た。
- 子供と大人では、そのモノに対する見え方が違うため、例えば、その遊びや活動が子供にとって、しっかりと成立しているかを考えなければならぬと思いました。
- 知識を現場との活用の仕方に悩むことが多いので、段階づけが他の方々や先生の話の中でたくさん聞けて良かったです。
- 今日の講義で、遊びのねらいを理論からしっかりと考えることが出来て、療育でのプログラム構成を振り返る良い機会になりました。遊びも自ら体験することで、実際に感覚が分かったり他の方の意見を聞くことで、アイデアがふくらみ、展開につなげていくことが出来ました。基礎から振り返って遊びを考え、今後の療育につなげて活かしていきたいと思います。
- 実際に使用しているおもちゃを使っての遊びの広げ方やバリエーションの増やし方など参考になりました。ねらいを立てて楽しく日々の支援に活かしていきたいと思います。
- すぐに現場で使える内容で、とても分かりやすかったです。「動詞、オノマトペを沢山考えると遊びのヒントになる」という言葉が心に残りました。日常の中に、思っている以上のヒントが隠れている事に気づかされました。ねらいを持ちつつ、楽しんで遊んでもらえるようにプログラムを考えたいと改めて思いました。
- 実際のおもちゃ(ボール)を使って考えることが楽しくできました。
- 遊びを考えるヒントがたくさんあり楽しかったです。

- ・訓練的にならず、遊びの中で子供たちの力をつけていくようにしていく事を、大切にしていきたいと思いました。具体的な活動のアイデアも根拠をもったところから、たくさんいただき日頃の活動に活かしていきたいです。
- ・ワークでは身近にある玩具の様々な遊び方を考える事ができ、たくさん種類の数に驚きました。また、段階を考えながら無限に遊びを作ることができる楽しさを改めて学ぶことができました。
- ・1つの遊具、遊びの中にも名称以外の遊び方や動的な物がたくさんあることを学び、遊びを今後発展させることが出来そうです。また、スタッフ間だけでなく、子どもとも一緒に考え広げていきたいと思います。
- ・今日から使える内容のものばかりで大変参考になりました。大人も楽しみながら講義を受ける事ができたので、この楽しさをどう子どもに達しに伝えながら活動するかも楽しみにになりました。
- ・楽しさを感じながら活動をしていただくように、「工夫する」「考える」を常に行いたいと思います。とても参考になりました。
- ・日々のプログラムに感覚統合を取り入れていますが、風船遊び、新聞遊び…マンネリ化している中でいい機会を頂けて良かったです。研修中に言われていた「“遊び”に対する動詞を考える事で遊びのヒントになる」を頭に入れ、日々のプログラムに繋げていきたいと思いました。また、一人ひとりで課題も違ってくるので、その子に合わせた内容に出来るよう学びを深めていきたいと感じられる講義内容だったと思いました。
- ・楽しく研修に参加することができました。ねらいを持って活動を行っていくこと、それが子どもたちにとって楽しい遊びになっているのか、今後の支援に役に立つお話と活動で大変勉強になりました。
- ・とても楽しく研修を受けることができました。初めての感覚に関する研修で、また受けてみたいと感じました。
- ・楽しく受けることができ、実践的だったのですごくわかりやすかったです。活動の内容や遊びの幅が広がっていくので、実際に子どもたちと関わる中で取り入れていきたい。
- ・療育に携わることになってまだ半年です。発達に合わせた活動について、わかりやすく勉強することができました。活動の内容、遊びの内容1つでも、たくさんの療育に繋がるのだと改めて知ることができました。今後の活動において今回の研修を活かしていけるよう自己研鑽していきたいと思います。
- ・お話を伺う中で、たくさんの子供たちをイメージしながら考える事ができました。何より楽しかったです。楽しそう!と思って取り入れる活動も、一つ一つを分解し、どこにねらいを持ってくるか、どのように評価するかなど、もう少し深く掘り下げていく事が大切だと感じました。
- ・具体的に、活動の組み立て方や方法を教えて頂いて勉強になりました。同じ道具や教材を使っても、見方を変えると難易度が変わり、バリエーションも増えるということを改めて思い知りました。新しい発見がありました。
- ・遊びの幅を広げるために「物を動詞で上げる」というのが勉強になりました。また、子どもが参加したくない、参加したいなど思えるために「できる!」を増やすのも本当に大事だと思いました。今後遊びの幅が広がりそうです。
- ・今行っている活動を振り返り、少しずつ現場で活用していきたい。子ども達の状況も、もう一度観察して取り組みたい。
- ・一つのおもちゃに対して、たくさんの動詞を考える事で遊びのバリエーションが広がる。両手の同時動作、交互動作、分担動作など勉強になりました。今回の研修に参加でき、とても良かったです。
- ・ボディイメージ、スケールエラー、両手の協調動作は発達段階についてや、発達の遅れがあると、どのような困難さがあるのかをわかりやすくお話して頂き、どのような所に気をつけて見ていけば良いか、改めて考える事ができました。今後の支援にも活かしていきたいと思います。グループで行った課題は、子ども達1人1人に合う活動を考えやすく新しい気付きにも繋がっていくと思い、私の職場でもやってみたいです。また萩原先生の講義がある時は、参加させて頂きたいです。
- ・実際に話を聞きながら、実践をしたりグループになって考える時間になって良かった。内容が普段の活動で入れてみたいと思うことがあり事業所で活かしていきたい。

- ・萩原先生の話は難しいのかなあと、はじめは心配していたが、私たちに合わせて分りやすい言葉で説明をしていただき、内容がすんなり入ってきて理解しやすかった。相手の事を考えて、相手がわかりやすい伝え方、アプローチをするという点において支援の現場でも大切にしていかなければいけないと思った。「遊びの中でもねらいをもつ」ということを今までも意識していたが、今後も今回の研修で学んだこともふまえながら、ねらいをたてて子ども達と全力で遊んでいきたいと思う。
- ・グループ活動を取り入れるようになって、今回の研修を参考にしながら、遊びを考えていきたいと思いました。物の見方を考え、一つの物でたくさんの案ができた事に、まだまだ学ぶことがたくさんあると思いました。

6.次年度、協議会に期待されることや要望などありましたらお書きください。

- ・できる事を沢山体験する事が出来るような遊びを知りたい。
- ・支援者が子ども達に声掛けする言葉かけ方法を知りたい。
- ・感情のコントロールが難しいお子さんや、切り替えが苦手なお子さんへの声掛け、対応の仕方などが、施設内でも統一が難しいのかなと思うこともあるので、対応の仕方について。
- ・今日のような研修がたくさん開催されると嬉しいです。
- ・感覚統合の中身を詳しく学びたいです。
- ・今回の研修、また次年度も行きたいです。
- ・来年度もよろしくをお願いします。
- ・お忙しい中、企画・準備等ありがとうございました。今後は支援者だけでなく保護者の方も参加できる研修等ができればお願いします。
- ・ソーシャルスキルトレーニングについて
- ・子どもへの言葉での上手な伝え方、説明。(小学高学年など)
- ・個別支援計画など必要な書類の書き方などもっと知りたい。
- ・初めて参加させて頂きましたが、時間があっという間に感じるほど楽しく学べたひとときでした。また機会がありましたら積極的に参加させて頂きたいと思えます。
- ・もっともっと遊びへの考えなどを他の事業所の方と共有していきたい。